



栃木県立小山高等学校



所在地 〒323-0028 小山市若木町2-8-51
 電話 0285-22-0236
 F A X 0285-22-8449
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/oyama/nc2/>
 創立 大正7年
 課程 全日制課程
 設置学科 普通科(各学年5クラス)・数理科学科(各学年1クラス)
 生徒数 699名(男子451名 女子248名)(令和3年5月1日現在)
 利用交通機関 JR小山駅から徒歩25分

全
日
制

I 学校の概要

1 学校教育目標

- 真理と学問、正義を愛する人間を育成する。
- 勤労と責任を重んじ、誠実で勤勉な人間を育成する。
- 自主自立の精神をもち、自他を敬愛する人間を育成する。
- 広い視野と円満な社会性をもち、国際社会の有為な形成者となる人間を育成する。

2 目指す学校像

- 自主的かつ根気強く学習に取り組み、希望する進路の実現に向けて努力できる生徒を育成する学校。
- 学習や部活動等に意欲的に取り組み、文武両道の実践をとおして自己の能力を最大限に発揮できる生徒を育成する学校。
- 学校生活全体をとおして、新しい時代を切り拓き、社会のリーダーとして活躍できる生徒を育成する学校。

3 募集する生徒像

本校の普通科または数理科学科を強く志望する生徒で、本校の教育目標・目指す学校像を理解し、将来への明確な目標をもち、その実現のために学習や諸活動に意欲的に取り組むことができる生徒。

II 学校の特色と学習内容

1 学校の特色

大正7年に小山町立農商補習学校として設立され、平成30(2018)年に創立100周年を迎えました。現在は普通科と県内唯一の数理科学科が置かれ、「聡直剛」の指標のもと、学習や部活動に取り組む、生徒の活気であふれている学校となっています。また、生徒それぞれの進路実現を目指し、大学等と連携した進路探究プログラムの開発と実施にも力を入れています。



探究プログラム・課題研究発表会

2 学習内容

(1) 普通科

- 幅広い教養を身につけ、さまざまな進路に対応できる学習内容

1年次は全クラス共通で国数英を中心に各科目の基礎を学びます。2年次からは文型と理型に分かれ、主に社会や理科の分野で興味や関心、進路に応じた科目を選択して学習します。文型では3年次に更にコース分けを行い、生徒一人一人の進路希望に応じた科目の学習を深めることができます。豊かな教養を身に付けるとともに、大学入試に対応できる学力も伸ばすことができます。

(2) 数理科学科

- 「観察・実験」で自然科学を探究する

1学年では日光で自然観察フィールドワーク、2学年では大学と連携した課題研究を行い、自然科学を探究するための方法を学びます。この経験が、進学先の決定や推薦型の入試を通じての進路実現につながった卒業生も多数います。理科・数学の科目を中心に志望大学の一般入試に対応できる授業が編成されています。



日光自然探究学習

3 希望進路実現に向けた教育活動の取り組み

(1) 豊かな人間性の形成

- ①文武両道の実践（学習と部活動の両立）
- ②生活指導の充実と規範意識の醸成
（頭髪・服装指導の徹底と挨拶の励行、交通安全指導）
- ③面談等による生徒とのコミュニケーションの充実
- ④生徒・保護者の悩みに答える、カウンセリング等の体制作り

(2) 確かな学力の形成

- ①授業中心主義（45分7時間授業）
- ②習熟度別学年級編成（全学年）及び習熟度別授業（数・英）
- ③朝の学習（7:50に登校し、学習に取り組む）
- ④平日課外授業（3年）、夏季課外授業（前期・後期）
- ⑤放課後の自主学習（教室・自習室等を18:30まで利用可能）
- ⑥土曜日の学校開放、月2回程度の課外実施

(3) 進路指導の充実

- ①生徒一人一人の希望に寄り添う、きめ細かい進路指導の実施
- ②進路実現を目指した進路探究プログラム
「総合的な探究の時間」では「進路探究」を柱に、次のようなプログラムを展開しています。
 - 1学年 自己理解とキャリア教育
（進路講演会、一日大学見学、アクティブラーニング型キャリア教育 模擬試験 など）
 - 2学年 学部学科研究
普通科 大学と連携した約70の講座が開設される「小山高校探究プログラム」の実施
数理科学科 「課題研究」で課題設定、研究、まとめ、プレゼンテーションまでの研究活動を体験
（進路講演会、学部学科紹介、アクティブラーニング型進路研究 模擬試験 など）
 - 3学年 個別の進路実現に向けた取り組み
（進路講演会、小論文・面接対策 共通テスト対策講習会、共通テスト直前課外 模擬試験 など）
- ③探究学習等のため、東京都市大学・宇都宮大学・日本工業大学・國學院大学栃木短期大学・友愛記念病院と連携協定を締結



普通科：授業風景



数理科学科：化学の実験実習

Ⅲ 進路状況

1 大学入試合格者（延べ数）

年度	国公立大学	私立大学
R2	63	505
R1	57	387
H30	64	332



数理科学科：STARTプログラム



普通科：探究プログラム
（文星芸大インターンシップ）

2 過去2カ年の卒業生の主な合格先

国立大学	北見工大 室蘭工大 東北大 秋田大 山形大 福島大 宇都宮大 群馬大 茨城大 筑波大 埼玉大 東京海洋大 千葉大 横浜国大信州大 山梨大 新潟大 金沢大 富山大 広島大 長崎大 鹿屋体育大 琉球大 他
公立大学	青森公立大 秋田県立大 会津大 高崎経済大 前橋工科大 群馬県立女子大 茨城県立医療大 埼玉県立大 横浜市立大 長野大 諏訪東京理科大 新潟県立大 山梨県立大 都留文科大 富山県立大 鳥取環境大 他
私立大学	早稲田大 慶応大 上智大 明治大 青山学院大 立教大 法政大 中央大 学習院大 東京理科大 芝浦工大 明治学院大 日本大 東洋大 駒澤大 順天堂大 専修大 東海大 帝京大 獨協大 文教大 亜細亜大 成蹊大 北里大 工学院大 東京都市大 東京電機大 日工大 昭和女子大 国際医療福祉大 白鷗大 東京家政大 自治医大 女子栄養大 武蔵大 神奈川大 同志社大 立命館大 関西学院大 他

Ⅳ 特別活動等の紹介

1 学校行事

- 学校生活充実のため、多様な学校行事を実施しています。
 - 1学期 入学式、学習習慣確立ガイダンス、生徒総会、球技大会、芸術鑑賞会
 - 夏季休業中 夏季課外、日光自然探究学習（数理科学科）
 - 2学期 学校祭または体育祭（隔年実施）、修学旅行
マラソン大会、国際理解交流会、激励会
 - 冬季休業中 冬季課外
 - 3学期 卒業式



数理科学科による熱気球の実演展示
（学校祭）

2 生徒会活動

生徒会では隔年で開催される学校祭・体育祭をはじめ球技大会、受験期を迎える3年生への激励会などさまざまな行事の運営に主体的に取り組んでいます。また、毎朝昇降口で挨拶運動に取り組む風紀委員会、校内美化のリーダーシップをとる環境美化委員会など、各種の委員会活動によって毎日の学校生活が快適で活気あるものとなり、生徒一人一人が活躍する学校生活を目指しています。

3 部活動等

生徒の希望に応えられるよう多くの部活動があります。

(1) 部活動一覧

文化部	美術 吹奏楽 写真 書道 茶華道 放送 科学 ユネスコ 文芸
運動部	ボクシング 水泳 陸上競技 剣道 バスケットボール バレーボール ソフトテニス (男) 硬式テニス 卓球 ウエイトリフティング 野球 サッカー (男) バドミントン
同好会	軽音楽 歴史研究 合唱 ダンス かるた

(2) 活動状況

平成31年度～令和2年度実績

全国大会出場

剣道部 ウエイトリフティング

ボクシング

関東大会出場

剣道部 ボクシング

ウエイトリフティング バドミントン

陸上競技 サッカー



V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科 20%程度

数理科学科 20%程度

2 出願するための資格要件

【普通科】

人物に優れ、基本的な生活習慣が身に付いており、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者

(1) 中学校における各学年各教科の学習成績が優秀で、大学進学という明確な進路目標をもち、本校入学後も意欲的に学習に取り組むことができる者。

(2) 中学校における各学年各教科の学習成績が良好で、部活動、生徒会活動などにおいて顕著な実績をもち、本校入学後も学習と両立させながら、それらの経験を生かして活躍できる者。

【数理科学科】

数学・理科に強い興味・関心をもつとともに、人物に優れ、基本的な生活習慣が身に付いており、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者。

(1) 中学校における各学年各教科の学習成績が優秀、又は、数学・理科の成績が極めて優秀で、理数系の大学進学という明確な進路目標をもち、本校入学後も意欲的に学習に取り組むことができる者。

(2) 中学校における各学年各教科の学習成績が良好、又は、数学・理科の成績が優秀で、部活動、生徒会活動などにおいて顕著な実績をもち、本校入学後も学習と両立させながらそれらの経験を生かして活躍できる者。

※顕著な実績とは以下のいずれかに該当することである。

- I 体育的活動
(普通科・数理科学科共通)
・優れた能力を持ち、中心選手として顕著な実績を残した者
- II 文化・芸術的活動
(普通科・数理科学科共通)
・中心となって活動し、優れた実績を残した者
(数理科学科)
・数学や理科関係の学術的活動において優れた実績を有する者
- III 生徒会活動など
(普通科・数理科学科共通)
・優れたリーダーシップを発揮した者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
小 論 文	時間50分 字数600～800字

4 その他、特記事項

- ・令和3年度高体連重点強化拠点校(剣道部(女子))
- ・令和3年度高体連強化推進拠点校
(剣道部(男子) ウェイトリフティング部(男子・女子) ボクシング部(男子))
- ・数理科学科は、本県唯一の理数系学科である。

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、以下のように扱う。
 - ①「各教科の学習の記録」(第1学年から第3学年)の評定を合計する。(135点満点)
 - ②数理科学科については調査書の数学・理科の学習の記録(第1学年から第3学年)の評定を合計する(30点満点)。
 - ③調査書の点数化されない部分で、資格要件に関わる部分(普通科・数理科学科とも)については段階評価を行う。
- 3 面接及び小論文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【普通科】

【資料の取扱い】の2の①で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の定員の50%以内にある者(ただし、定員に満たない場合は受検者の50%以内にある者)で、【資料の取扱い】の3の評価が優秀又は良好な者を合格内定とする。

【数理科学科】

【資料の取扱い】の2の①で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の定員の50%以内にある者(ただし、定員に満たない場合は受検者の50%以内にある者)及び【資料の取扱い】の2の②で点数化した数学・理科の合計点数が極めて優秀で、【資料の取扱い】の3の評価が優秀又は良好な者を合格内定とする。

第2次審議

【普通科・数理科学科】

第1次審議において合格内定となった者を除いたすべての受検者を対象に、【資料の取扱い】2の③の評価が特に優れており、【資料の取扱い】の3の評価が優秀又は良好な者から、合格内定者を選抜する。

第3次審議

【普通科・数理科学科】

第1次審議及び第2次審議で合格内定となった者を除いたすべての受検者について、すべての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。